

# 明治ホールディングス株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：製造業（食料品・医薬品）</li> <li>● 事業概要：食品事業会社の(株)明治では主に乳製品・菓子・栄養食品、薬品事業会社のMeiji Seika ファルマ(株)およびKMバイオロジクス(株)では主に医療用医薬品・ワクチンの製造・販売等を行っています。</li> <li>● 事業規模：（売上、拠点数、従業員数など） 売上高 1,252,706百万円（2019年度）</li> </ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>【目標】2030年度までに、2015年度比で、42%削減。</p> <p>【取組】トッランナー設備への更新・導入等の省エネ。太陽光発電設備等の創エネ。再生可能エネルギー電力の購入等も進める。</p> <p>&lt;Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>【目標】2030年度までに、2019年度比で、カテゴリ1,4,9,12を13.6%削減。</p> <p>【取組】生産効率の向上、容器包装の軽量化、物流の効率化等。</p>

# 明治ホールディングス株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul> <p>SCOPE1 : 7%</p> <p>SCOPE2 : 11%</p> <p>SCOPE3 : 82%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 29[万tCO<sub>2</sub>]</li> </ul>
	<p>GHG排出量[tCO<sub>2</sub>]</p> <p>A pie chart titled 'GHG排出量[tCO<sub>2</sub>]' showing the distribution of greenhouse gas emissions. The chart is divided into three segments: a small blue segment for SCOPE1 (7%), a slightly larger orange segment for SCOPE2 (11%), and a large grey segment for SCOPE3 (82%). A legend below the chart identifies the colors: blue for SCOPE1, orange for SCOPE2, and grey for SCOPE3. Callout boxes point to each segment with their respective percentages.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 44[万tCO<sub>2</sub>]</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 : 326[万tCO<sub>2</sub>]</li> </ul> <p>目標の対象カテゴリ : カテゴリ1,4,9,12</p>

# 明治ホールディングス株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【リスク】将来的に原材料（乳・カカオ・医薬品原料等）の収量減少などの影響によって、調達コストのアップなどが懸念される。</li> <li>● 【機会】気温上昇による自社商品（止渴飲料等）の需要の拡大。気候変動による感染症の拡大に伴う自社医薬品（抗生剤・ワクチン等）の需要の拡大。 率先して自社が、想定されるリスクに対する対策に取り組むことにより、外部評価の向上が期待されること。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【背景】IPCCの1.5℃特別報告書などによると、気候変動が生態系に大きな影響を与えており、当社の事業が自然の恵みの上に成り立っていることから、自然資本が重要な経営基盤と考えている。</li> <li>● 【目的】経営リスクの回避のために気候変動の緩和に少しでも貢献すること、および、気候変動に取り組むことでESG評価の向上を図ること。</li> <li>● 【期待する効果】SBT認定を得ることで、目標値の信頼性が向上し、ステークホルダー（お客様、株主・投資家、取引先等）に対する訴求力が強くなり、ビジネスチャンスの拡大が期待できる。</li> </ul>

# 明治ホールディングス株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 当社サステナビリティ推進部にて目標値の算出を行い、各事業会社の関係部署にコンセンサスを得た上で、CSO(Chief Sustainability Officer)の承認を経て、各事業会社長が出席する委員会に諮り、承認を得ている。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope3の2/3以上を占めるカテゴリ1削減目標達成のために、事業の縮小とならないような削減施策を示し実行していくこと。</li></ul>